

事業名称	地域文化財でつながる！地域と未来プロジェクト			
実行委員会	旧宮城郡地域文化財活用実行委員会			
中核館	東北歴史博物館			
	住所	〒985-0862 宮城県多賀城市高崎1-22-1		
	TEL	022-368-0101	FAX	022-368-0103
	ホームページ	https://www.thm.pref.miyagi.jp/		
構成団体	鹽竈神社博物館・瑞巖寺宝物館・東園寺・満勝寺			
事業開始時点の課題分析	<p>旧宮城郡地域は、古代以降、陸奥国および仙台藩・宮城県において、一貫して政治・経済・文化の中心地であり、その歴史に裏付けされるように多くの文化財が存在する。しかし、詳細な調査が行われていないものも多く、また、その保存管理については、各市町村で多少の違いはあるものの、ほぼ所蔵者に委ねられている。このためか、地域の人々にとっては、地域文化財は所蔵者のもの、という意識が高く、それを長く保存し、さらに活用して地域を活性化しようという動きは未だに少ない。そのため、散逸や劣化の進行という事例も少なからず見受けられる。また、詳細な調査などが行われていないため、活用に向けてもその素地が整っておらず、文化財が多く存在するという地域的な特性が活かされていないのが現状である。</p>			
事業目的	<p>先人たちの遺した地域の文化財について、地域が共働して保存管理し、未来へつなげていくとともに、地域の人々が互いに連携して地域文化財を活用し、地域の活性化や観光拠点の再生・創出につなげてゆく。そのために、地域文化財の情報拠点として各博物館・宝物館が連携し、調査を含めた情報収集から地域への情報提供や保存管理に関する技術的助言を行うとともに、地域が共働する動きを醸成するため、地域の歴史性や特質を伝え、地域文化財を中心に据えた地域活性化や地域観光の未来像について地域とともに考えていく。</p>			
事業概要	<p>地域文化財の存在を周知するため、各博物館・宝物館などが連携して調査を含めた情報収集を行い、それを冊子その他で広く発信していく。それと同時に、地域の人々に対して文化財の価値を伝えるとともに、地域文化財を地域の中で受け継ぎ、未来へつなげていく重要性を理解してもらうため、講座や講演会などの教育普及事業を行う。その上で、地域での保存管理について技術的な助言を行いながら、地域の人々とともに考え、地域ぐるみでの文化財保存をめざす。また、文化財が多く存在するという地域の特性を活かして、地域活性化等につなげるには、地域の人々が連携し、共働する必要性を理解してもらうことが不可欠である。そのために、地域の多様な人々へ向けて地域の歴史性</p>			

	<p>や特質を発信する講座を開催し、地域のまとまりは歴史的なものであり、地域の人々のつながりは長い時間をかけて形成されてきたものであることを伝える。さらに、地域の未来と地域文化財を考える講座を開催し、未来へ向けて持続的に地域文化財を活用した地域活性化や観光振興につなげていく新たな方法を模索し、確立していきたい。なお、当事業は単年度では最終的な目標・効果が達成されにくいものと思われるため、3年程度の継続事業として計画している。</p>
<p>実施項目 ・ 実施体系</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 博物館などが連携した地域文化財に関する情報収集・情報発信 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域に所在する文化財についての情報収集 (2) 地域に所在する文化財についての情報発信 2. 地域での文化財保存に関わる教育普及 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域文化財講座・講演会の実施 3. 地域が共働して文化財を活用するための教育普及【中止】 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域が連携・共働するための講座の実施【中止】 (2) 地域が共働して文化財を活用するための講座の実施【中止】
<p>実施後の 成果・効果等</p>	<p>旧宮城郡地域に存在する文化財の総合把握には数カ年を要するものと思われるが、今年度はほぼ想定通りの文化財の詳細調査および写真撮影を実施することができ、当該年度の活動に資することができると同時に、次年度以降の活用・発信事業にも資することが可能になった。それにより冊子制作などによって情報発信等も行うことができた。この成果は、来年度以降も内外への情報発信に役立てていきたい。また、文化財を地域で守るための講演会などによって、地域での文化財を保存していくための教育普及活動を行い、地域文化財を地域の中で受け継ぎ、未来へつなげていく重要性の理解につながれたと思う。しかし、地域歴史講座など地域が共働して文化財を活用するための教育普及活動については、新型コロナウイルス感染拡大によって中止せざるを得なかったのは、大変残念であるが、その他の活動によって、地域文化財の存在と重要性が理解され、さらに地域ぐるみでの保存・活用の必要性の理解が芽生え始めたものと考えている。</p>

【事業実績】

地域文化財の存在を周知するため、各博物館・宝物館などが連携して調査を含めた情報収集を行い、それを冊子その他で広く発信した。それと同時に、地域の人々に対して文化財の価値を伝えるとともに、地域文化財を地域の中で受け継ぎ、伝えてゆく重要性を理解してもらうため、講座や講演会などの教育普及事業を行った。その上で、地域の歴史性を理解し、未来へ向けて持続的に地域文化財を活用した地域活性化や観光振興につなげていくための講座を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止とした。

1. 博物館などが連携した地域文化財に関する情報収集・情報発信

主に実行委員会を構成している博物館などを中心に、地域文化財に関する情報収集を行い、共働して詳細調査を行った。それを元に、地域文化財についての情報発信を行った。その一環として、地域文化財の冊子（B5版、全16頁）を制作し、情報発信に資した。



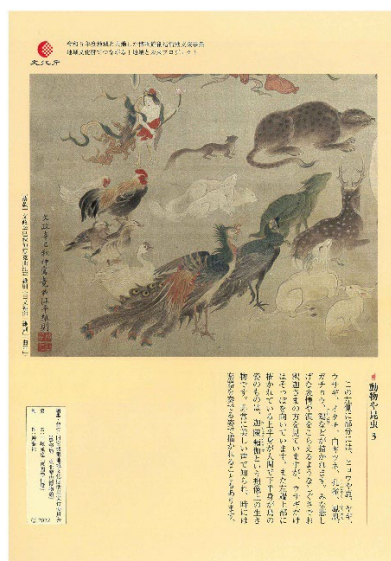
文化財の調査・撮影



冊子の編集



地域文化財冊子制作（表紙）



同（裏）

2. 地域での文化財保存に関わる教育普及

地域の人々に対して地域文化財の存在とその重要性を理解してもらい、将来的に地域ぐるみでの文化財保存・活用をめざすために、地域文化財に関する講演会など教育普及活動を行った。



化財の撮影



講演会風景1



講演会風景2



講座風景



海中から引き揚げられた板碑のミニ展示(講演会)